

北九州市 児童福祉施設等

第三者評価 結果票

旭ヶ丘保育園

1 施設・事業所の概要

- | | |
|---------------|---------------|
| (1) 事業者名（法人名） | 社会福祉法人 志学会 |
| (2) 事業所名 | 旭ヶ丘保育園 |
| (3) 設立年月日 | 昭和28年3月1日 |
| (4) 定員 | 40名 |
| (5) 所在地 | 小倉南区大字木下8番地の5 |
| (6) 電話番号 | 093-451-0043 |

2 評価実施日

令和元年12月6日

3 評価実施者

北九州市（北九州市児童福祉施設等第三者評価委員会）

4 評価結果

総合評価

保育園は小倉南区平尾台の西側ふもとに位置し、自然豊かな環境に恵まれています。地域に根差した家庭的な保育が行われ、桜や銀杏、梅、プラム等の木々に囲まれ四季折々の自然との触れ合いを楽しんでいます。裏庭には広い羊牧場があり、子ども達も触れる時間をもっています。園舎は清潔に保たれ、計画的にバリアフリーにリフォームされています。

I 子どもの発達援助

全体的な計画は保育理念や保育方針に基づき、指導計画は関係する職員が参加し作成されていますが、地域の実態や園の独自性を具体的に盛り込むことや全体的な計画に基づき作成すること、3歳未満児においては一人一人の子どもの発達を踏まえた個別計画を作成すること、また園長や主任が助言・指導を行うことが望まれます。

職員研修でマニュアルを見直し実際の対応法等を確認しています。経過観察が必要な子どもに対して保護者と協力体制を取っていますが、3歳未満児は、保護者ときめ細かな情報交換ができるよう、機嫌や食欲、排泄等が記入できる連絡帳の活用が望まれます。感染症に関するマニュアルが作成されていますが、感染症等の発生時には嘱託医や関係機関から指示を受けることができるような体制を作り、記録しておくことが望まれます。

収穫物や様々な食材を使ってクッキングする機会もあります。除去食については、一人一人の個人記録簿を整備保管し、実際の対応法について職場内研修を実施することが望まれます。

保育室の広さを確保するため、スチール棚や全児のロッカーを通路に設置していますが、安全性を高める工夫が望まれます。3歳以上児はコーナー等の落ち着ける空間を作ることと、砂場の消毒や砂の入れ替えなどの衛生管理が望まれます。

言葉の獲得や文字、記号への関心をもてるように環境を整え、子ども達に分かりやすく温かな言葉づかいで接しています。毎日細かい時間割りが決められており、子ども達自身が意欲的に探索したり挑戦したりすることが難しい状況なので、十分に満足できる遊びを展開できるような環境づくりが望まれます。地理的条件を生かした川遊びや竹の子掘りや広い羊牧場での親子バーベキュー大会等、様々な体験ができています。

子どもへの性差への先入観による固定的な対応をせず、男児、女児の性差なく取り組んでいます。子どもの人権に関する職場内研修を実施し、機会を捉えて保護者へ啓発することも望まれます。

II 子育て支援

クラス懇談、個人懇談が全保護者を対象に開催されていますが、保護者が気軽に相談できるスペースの確保が望まれます。

児童虐待についての研修会に参加しており、職員会議と報告書で報告されていますが、関係機関の連絡先等を一覧表を作成し、事務室の掲示板等に掲示することが望まれます。地域の子育て支援サークルと人形劇鑑賞会等を定期的に開催しています。また、屋外掲示板を利用して育児情報の提供を行っています。

III 地域の住民や関係機関等との連携

園長は学童クラブの運営委員として参画し、自治会や地域の団体とも連携した取組を行っています。保育所と小学校との職員による話し合いが定期的に行われ、幼稚園や他の保育園と3園の園児同士が行事等で定期的に交流する機会を設けています。また、地域住民には運動会やマラソン大会等の行事をポスターで案内し、事前に理解と協力をお願いし、招待をしています。今後は、保護者や職員等が利用しやすいように、収集した情報を機関別に整理・分類することが望まれます。

IV 運営管理

保育理念や基本方針を明文化しており、屋外掲示板によって保護者や地域住民に周知しています。「改善のための職員提案の募集」「職員から意見を聴く場」を定期的に設けることが望まれます。また、保育の実践を通じた課題や保護者からの苦情等をケーススタディとして、カンファレンスや職場内研修を適宜、実施することが望まれます。守秘義務の遵守に関しては、マニュアルに示されています。秘密についての認識や秘密保持の方法等についての職場内研修を行うこと、また子どもに関する記録の管理について規定を整備し、適切に管理することが望まれます。毎月、事故や災害を想定した避難訓練が行われ、警察と連携し防犯訓練を実施しています。今後は、事故や災害に適切に対応できるマニュアルや事故防止に関するチェックリストを整備することや、食中毒が発生した場合の対応マニュアルを作成し、職員に周知することが望まれます。また、不審者侵入防止のために門扉や玄関の施錠が望まれます。

評価対象ごとの評価（概要）

I 子どもの発達援助

一人一人の子どもの状況に配慮した保育が展開されているか、保育にふさわしい環境が整っているかなどを評価したものです。

評価対象	評価結果
発達援助の基本	<p>計画・記録</p> <p>全体的な計画は保育理念や保育方針に基づき、指導計画は関係する職員が参加して、作成されていますが、自然に恵まれた地域の実態や園の独自性を具体的に盛り込むこと、全体的な計画に基づき作成すること、3歳未満児においては一人一人の子どもの発達を踏まえた個別計画を作成すること、また園長や主任が助言・指導を行うことが望まれます。</p> <p>会議</p> <p>ケース会議は定期的に行われ、内容は全職員に回覧して周知されていますが、その内容が保育に生かされるよう、保育計画に取り入れることが望まれます。</p>
健康管理・食事	<p>健康管理</p> <p>職員研修でマニュアルを見直し実際の対応法等を確認しています。経過観察が必要な子どもに対して保護者と協力体制を取っていますが、3歳未満児は、保護者とタイムリーな情報交換ができるよう、機嫌や食欲、排泄等が記入できる連絡帳の活用が望まれます。</p> <p>感染症</p> <p>感染症に関するマニュアルが作成されていますが、感染症等の発生時には嘱託医や関係機関から指示を受けることができるような体制を作り、記録しておくことが望まれます。</p> <p>食事</p> <p>3歳以上児は毎週土曜日に園庭での給食を楽しみ、土曜日のおやつは畑の収穫物や様々な食材を使ってクッキングをする機会もあり、月1回のお弁当の日には年齢に応じて園外保育を実施しています。除去食については、一人一人の個人記録簿を整備・保管し、実際の対応法について職場内研修を実施することが望まれます。</p>
保育環境・保育内容	<p>保育環境</p> <p>豊かな自然に恵まれ、身近に動植物と触れることができ、地理的条件を生かし川遊びや竹の子掘りや広い羊牧場での親子バーベキュー大会等、様々な体験ができています。保育室の広さを確保するため、スチール棚や全児のロッカーを通路に設置していますが、安全性を高める工夫が望まれます。3歳以上児はコーナー等の落ち着ける空間を作ることと、砂場の消毒や砂の入れ替えなどの衛生管理が望まれます。</p> <p>保育内容</p> <p>言葉の獲得や文字や記号への関心ももてる環境に配慮し、子ども達に分かりやすく温かな言葉づかいで接していますが、毎日細かく時間割りが決められており、子ども達自身が意欲的に探索したり挑戦したりすることが難しい状況なので、十分に満足できる遊びを展開できるような環境づくりが望まれます。</p> <p>人権・性差</p> <p>外国の人と触れる機会を毎年もっており、子どもへの性差への先入観による固定的な対応もせず、男児、女児の性差なく取り組んでいます。子どもの人権に関する職場内研修を実施し、機会を捉えて保護者へ啓発することも望まれます。</p> <p>延長保育・障害児保育</p> <p>延長保育では、迎への保護者との情報交換も適切に行われ、日頃の保育とは違う玩具を用意して自由に遊ぶことができます。</p> <p>障害児保育では、保護者と定期的に個別懇談をして連携を図りその思いを受け止めています。</p>

II 子育て支援

子育てに関する保育所と保護者との相互理解や、地域における子育て支援の取組等を評価したものです。

評価対象	評価結果
者の育児支援 入所児童の保護	<p>保護者との関係・虐待</p> <p>クラス懇談は年に1回、個人懇談も年長児は年に2回、その他は年に1回、全保護者を対象に開催されています。「父母の会」との連携が図られ、行事等への協力体制も整っていますが、保護者が気軽に相談できるスペースの確保が望まれます。</p> <p>児童虐待についての研修会に参加しており、職員会議と報告書で報告されていますが、関係機関の連絡先などを一覧表で書き出し、事務室の掲示板等に掲示することが望まれます。</p>
支援 地域の子育て	<p>地域支援・一時保育</p> <p>地域の子育て支援サークルと人形劇鑑賞会等を定期的に開催しています。屋外掲示板を利用して育児情報の提供を行っています。</p>

III 地域住民や関係機関等との連携

地域の最も身近な児童福祉施設としての役割を果たしているか、関係機関等との連携を図っているかなどを評価したものです。

関・団体との連携 地域の住民や関係機関	<p>地域での役割・その他機関との連携</p> <p>園長は学童クラブの運営委員として参画し、自治会や地域の団体とも連携した取組を行っています。保育所と小学校との職員による話し合いが定期的に行われ、幼稚園や保育園と3園の園児同士が行事等で定期的に交流する機会を設けています。また、地域住民には運動会やマラソン大会等の行事をポスターで案内し、事前に理解と協力をお願いし、行事に招待しています。今後は、保護者や職員等が利用しやすいように収集した情報を機関別に整理・分類することが望まれます。</p>
ンティア 実習・ボラ	<p>実習等の受入</p> <p>中学生の職場体験が行われ、オリエンテーション時にしおりを用いて注意事項等を知らせています。受け入れについては、ホワイトボードの掲示により職員や保護者に周知されていますが、それぞれの受け入れについて園の方針を定め、目的に応じたプログラムを提供することが望まれます。</p>

IV 運営管理

保育に関する基本方針等が策定されているか、職員研修等の取組がなされているかなど、組織としての運営管理を評価したものです。

組織運営 基本方針	<p>理念・方針</p> <p>保育理念や基本方針を明文化しており、屋外掲示板によって保護者や地域住民に周知しています。</p> <p>保育の質の向上・研修</p> <p>職員会議でクラス運営上の問題点や反省点、課題を出し合い、次年度に向けた話し合いをしています。また、「改善のための職員提案の募集」「職員から意見を聴く場」を定期的に設けることが望まれます。また、保育の実践を通じた課題や保護者からの苦情等をケーススタディとして、カンファレンスや職場内研修を適宜、実施することが望まれます。さらに、職員一人一人の研修記録が個別ファイルとして作成・保管されることがや職場内外の年間計画を立てるとともに、職場内研修の充実が望まれます。</p>
安全・衛生管理 情報提供 守秘義務の遵守	<p>守秘義務・情報・安全</p> <p>守秘義務の遵守に関しては、マニュアルに示されています。保育所の掲示板、保育所独自のホームページで、保護者や地域に向けて情報を分かりやすく伝えるための工夫がなされていますが、秘密についての認識や秘密保持の方法等についての職場内研修を行うこと、また子どもに関する記録の管理について規定を整備し、適切に管理することが望まれます。</p> <p>毎月、事故や災害を想定した避難訓練が行われ、警察と連携し、防犯訓練を実施しています。今後は、事故や災害に適切に対応できるマニュアルや事故防止に関するチェックリストを整備することや、食中毒が発生した場合の対応マニュアルも合わせて作成し、職員に周知することが望まれます。また、不審者侵入防止のために、門扉や玄関の施錠が望まれます。</p>